

# 宮城県商工地区中小企業景況調査報告書

2022年7月～9月期

## 目次

1. 県下産業全体の景況 .....	2
(1) 主要景況項目のあらまし .....	2
(2) 全国・東北ブロックおよび本県景況のあらまし .....	3
(3) 今後の見通しについて .....	4
2. 県下産業別の景況 .....	5
(1) 製造業の動向 .....	5
(2) 建設業の動向 .....	8
(3) 小売業の動向 .....	11
(4) サービス業の動向 .....	14

2022年12月

宮城県商工会連合会



# 中小企業景況調査報告書

2022年7月～9月

## [調査要領]

### 1. 調査対象

- (1) 対象地区 宮城県内10商工会地区  
(調査対象商工会名) 名取市商工会、大河原町商工会、みやぎ仙台商工会、利府松島商工会、くろかわ商工会、加美商工会、遠田商工会、若柳金成商工会、みやぎ北上商工会、石巻かほく商工会
- (2) 対象企業数 150企業
- (3) 回答企業数 150企業

### 2. 調査対象期間

2022年7月～9月期を対象として、調査時点は2022年9月1日とした。

### 3. 調査方法

- (1) 商工会の経営指導員による訪問面接調査。
- (2) 対象企業の抽出は、商工会に於いて、業種・規模等有意選定。

### 4. 回答企業内訳

業 種	企 業 数
製 造 業	33
建 設 業	25
小 売 業	43
サービス業	49
合 計	150

### 5. そ の 他

本報告書中のD Iとは、ディフュージョン・インデックス(景気動向指数)の略で、各調査項目についての増加(上昇・好転)企業割合と減少(低下・悪化)企業割合の差を示すものである。

# 1. 県下産業全体の景況

## (1) 主要景況項目のあらまし

### ① 業況D I の状況と来期見通し

県下商工会地区における今期(2022年7月～9月期)の調査において、産業全体(全産業)の業況D I(前年同期との比較D I、以下同じ)では、△31.5と前期と同水準であった。産業別では、製造業が△21.2と同水準で推移、建設業は△12.0(前期△36.0)で24.0ポイントの大幅改善、一方、小売業は△55.8(前期△45.3)で△10.5ポイント悪化、サービス業では△27.1(前期△24.5)と△2.6ポイントの悪化となった。

来期見通しでは、産業全体(全産業)として改善の見通しである。産業別では、製造業、建設業で悪化、小売業、サービス業では改善の見通しである。

表一 業況D I の状況と来期見通し (前年同期比・D I)

業種	前期	今期	来期見通し
全産業	△ 31.5	△ 31.5	△ 30.0
製造業	△ 21.2	△ 21.2	△ 36.4
建設業	△ 36.0	△ 12.0	△ 16.0
小売業	△ 45.3	△ 55.8	△ 44.2
サービス業	△ 24.5	△ 27.1	△ 20.4

### ② 設備投資の状況と来期計画

新規投資の実施比率は、小売業が9.3%で横ばいとなったものの、製造業が15.2%で前期比3.1ポイント増加、建設業は16.0%、サービス業で12.2%とそれぞれ前期比4.0ポイントの増加となった。

来期に設備投資を計画している企業は、今期に比べ製造業、建設業で減少、小売業で増加、サービス業で横ばいとなっている。

表二 設備投資の状況と来期計画 (企業割合・%)

業種	前期	今期	来期計画
製造業	12.1	15.2	9.1
建設業	12.0	16.0	12.0
小売業	9.3	9.3	11.6
サービス業	8.2	12.2	12.2

## (2) 全国・東北ブロックおよび本県景況のあらまし

### ① 売上額（完成工事額）

2022年9月調査の日銀短観で、「中小企業の業況判断指数（D I）は前期(2022年6月調査)と比較し、「製造業が横ばいのマイナス4、非製造業はプラス2で前期から3ポイント上昇。海外経済の減速や原材料価格の上昇が、引き続き製造業で弱い動きとするも、国内旅行支援策の実施や水際対策の緩和に伴い、非製造業で景況感が改善する見込み」と発表された。

宮城の今期売上額（完成工事額）D Iは、前期との比較では製造業で改善、建設業では改善幅が2桁ポイント上昇しプラスに回復、一方、小売業、サービス業では悪化となった。

今期の宮城の全国・東北との売上額D I比較では、製造業が全国以下・東北以上、小売業で全国・東北以下、建設業・サービス業では全国・東北以上であった。

表－3 売上額（完成工事額）の状況 (前年同期比・D I)

区分 業種	全 国		東 北		宮 城	
	前 期	今 期	前 期	今 期	前 期	今 期
製 造 業	△ 3.2	△ 4.0	△ 3.0	△ 8.9	△ 12.1	△ 6.0
建 設 業	△ 19.0	△ 12.7	△ 22.3	△ 14.3	△ 32.0	4.2
小 売 業	△ 20.2	△ 20.9	△ 31.9	△ 36.3	△ 30.3	△ 39.5
サービス業	△ 6.0	△ 7.9	△ 14.2	△ 15.3	6.2	△ 4.1

### ② 採 算

宮城の今期の採算D Iは、全業種でマイナス値であった。前期との比較では、製造業・建設業・小売業で改善、サービス業で悪化となった。

今期の宮城の全国・東北との採算D I比較では、製造業では全国・東北以上、建設業・小売業・サービス業で全国以下・東北以上であった。

表－4 採算の状況 (前年同期比・D I)

区分 業種	全 国		東 北		宮 城	
	前 期	今 期	前 期	今 期	前 期	今 期
製 造 業	△ 25.6	△ 30.4	△ 32.4	△ 37.4	△ 30.3	△ 12.1
建 設 業	△ 35.9	△ 31.8	△ 39.2	△ 38.3	△ 48.0	△ 36.0
小 売 業	△ 40.0	△ 38.7	△ 53.9	△ 47.2	△ 53.4	△ 44.2
サービス業	△ 32.2	△ 35.9	△ 38.1	△ 43.2	△ 22.5	△ 36.8

### (3) 今後の見通しについて

#### ① 県下産業全般の主要項目来期見通し

宮城の売上額（完成工事額）来期見通しD I（2022年10月~12月期）では、今期状況D Iとの比較で、製造業で△15.2ポイント、建設業で△20.8ポイント、小売業で△2.3ポイント、サービス業で△12.2ポイントとそれぞれ悪化の見通しとなった。

採算来期見通しD Iでは、今期状況D Iとの比較で、製造業で△18.2ポイント悪化、建設業で4.0ポイント改善、小売業で2.3ポイント改善、サービス業で8.2ポイント改善の見通しとなった。

#### ② 全国と本県企業の来期見通し比較

今期と来期見通しとの比較において、製造業では売上は全国・宮城でともに悪化、採算では全国で改善、宮城で悪化の見通し。建設業でも売上は全国・宮城で悪化、採算で全国・宮城で改善の見通しとなった。小売業は売上が全国・宮城でともに悪化、採算では全国・宮城でともに改善の見通しとなった。サービス業では売上が全国・宮城で悪化、採算では全国・宮城で改善の見通しとなった。

表－5 売上額（完成工事額）の状況と見通し（前年同期比・D I）

区分 業種	全 国		宮 城	
	今期状況	来期見通し	今期状況	来期見通し
製造業	△ 4.0	△ 9.2	△ 6.0	△ 21.2
建設業	△ 12.7	△ 19.5	4.2	△ 16.6
小売業	△ 20.9	△ 24.8	△ 39.5	△ 41.8
サービス業	△ 7.9	△ 14.1	△ 4.1	△ 16.3

表－6 採算の状況と見通し（前年同期比・D I）

区分 業種	全 国		宮 城	
	今期状況	来期見通し	今期状況	来期見通し
製造業	△ 30.4	△ 25.4	△ 12.1	△ 30.3
建設業	△ 31.8	△ 27.7	△ 36.0	△ 32.0
小売業	△ 38.7	△ 35.3	△ 44.2	△ 41.9
サービス業	△ 35.9	△ 33.1	△ 36.8	△ 28.6

## 2. 県下産業別の景況

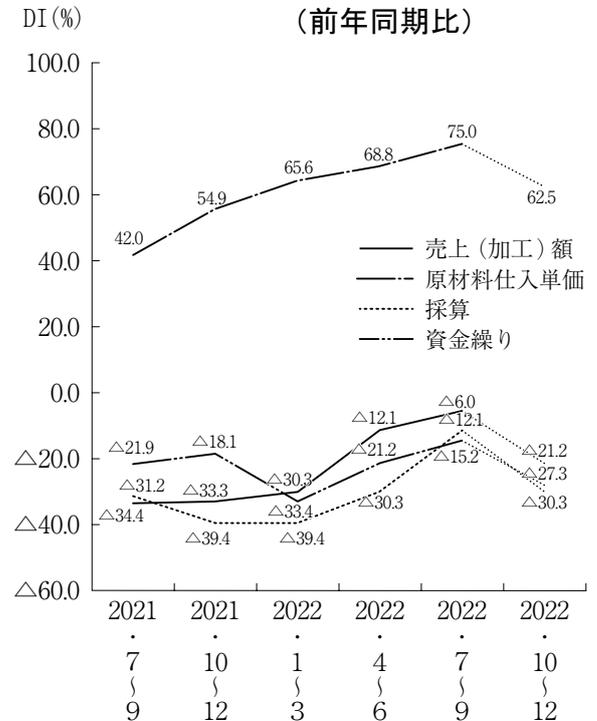
### (1) 製造業の動向

#### ① 主要景況項目から見たあらまし

前年同期比D Iは、売上(加工)額D Iが今期△6.0(前期△12.1)となり前期比6.1ポイント改善、採算D Iでは今期△12.1(前期△30.3)で同18.2ポイント改善、資金繰りD Iでは今期△15.2(前期△21.2)で同6.0ポイントの改善となった。

原材料仕入単価は今期75.0(前期68.8)と6.2ポイント上昇した。

図1-1 主要景況項目の推移  
(前年同期比)



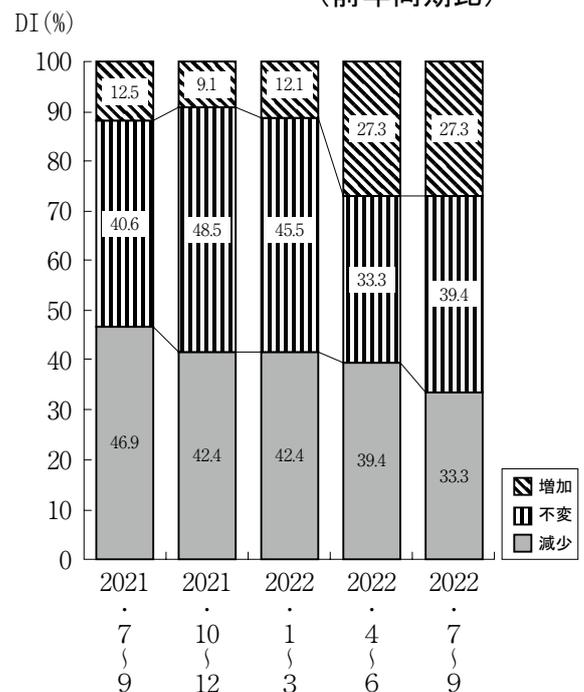
#### ② 主要景況項目別状況

##### (a) 売上(加工)額

「増加」と回答した企業は、全体の27.3%(前期27.3%)と前期比同水準で推移、「減少」と回答した企業は33.3%(前期39.4%)と△6.1ポイント減少した。

その結果、売上(加工)額D Iは△6.0(前期△12.1)となり前期比6.1ポイントの改善となった。

図1-2 売上(加工)額の状況  
(前年同期比)

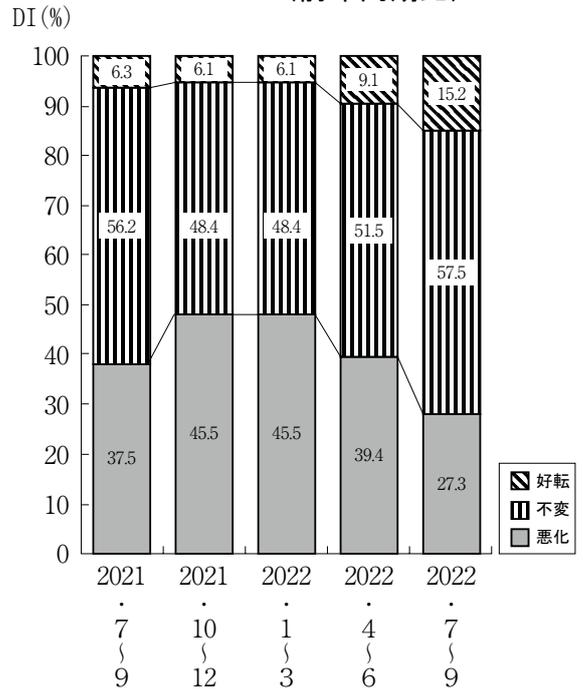


(b) 採 算

「好転」と回答した企業は全体の 15.2% (前期 9.1%) で 6.1 ポイント増加、「悪化」と回答した企業は 27.3% (前期 39.4%) で  $\Delta$ 12.1 ポイント減少。

その結果、採算DIは $\Delta$ 12.1 (前期 $\Delta$ 30.3) で 18.2 ポイントの改善となった。

図 1-3 採算の状況  
(前年同期比)



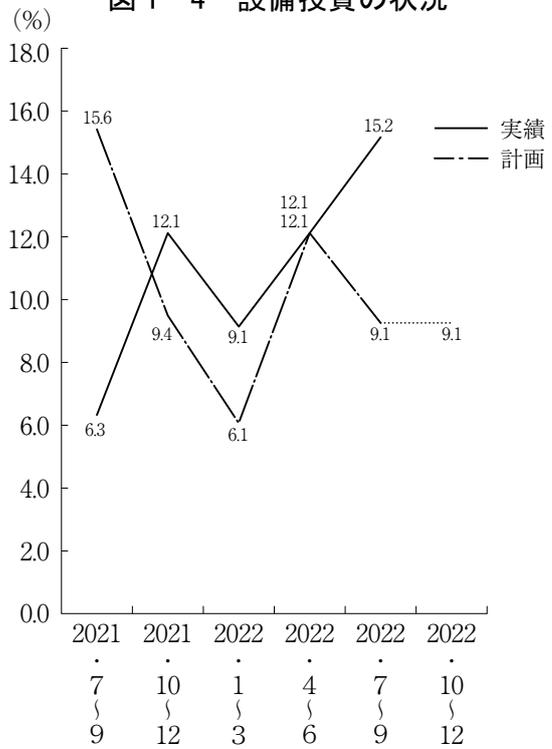
(c) 設 備 投 資

今期の新規投資実施(実績)企業割合は全体の 15.2% (前期 12.1%) で、前期と比べ 3.1 ポイント増加した。

その設備内容は、生産設備、OA機器であった。

来期に設備投資を計画している企業は全体の 9.1% で、その設備内容は、生産設備、車両・運搬具、OA機器となっている。

図 1-4 設備投資の状況

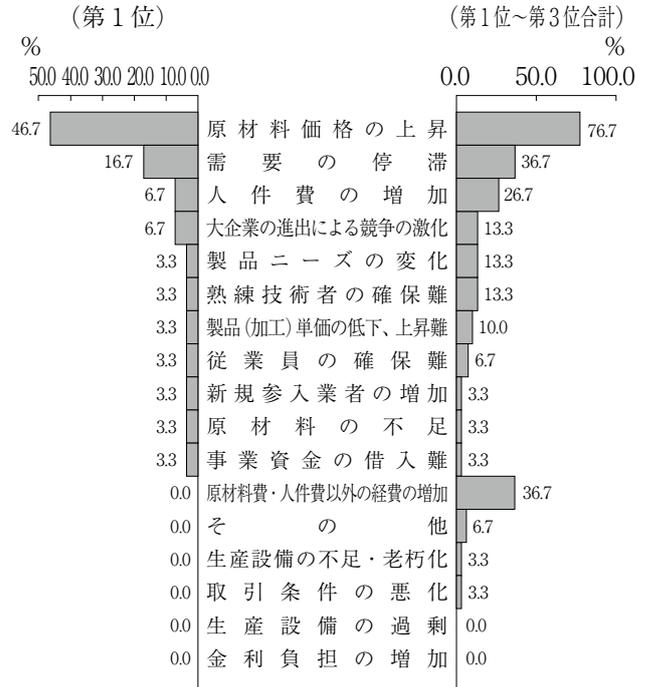


(d) 経営上の問題点

重要度第1位の問題点は「原材料価格の上昇」で46.7%、次いで「需要の停滞」が16.7%で続いた。

重要度第1位から第3位合計では「原材料価格の上昇」が76.7%（複数回答合計、以下同じ）で最上位、次いで「需要の停滞」「原材料費・人件費以外の経費の増加」が同率36.7%、「人件費の増加」が26.7%、「大企業の進出による競争の激化」、「製品ニーズの変化」、「熟練技術者の確保難」が同率13.3%で続いた。

図1-5 経営上の問題点



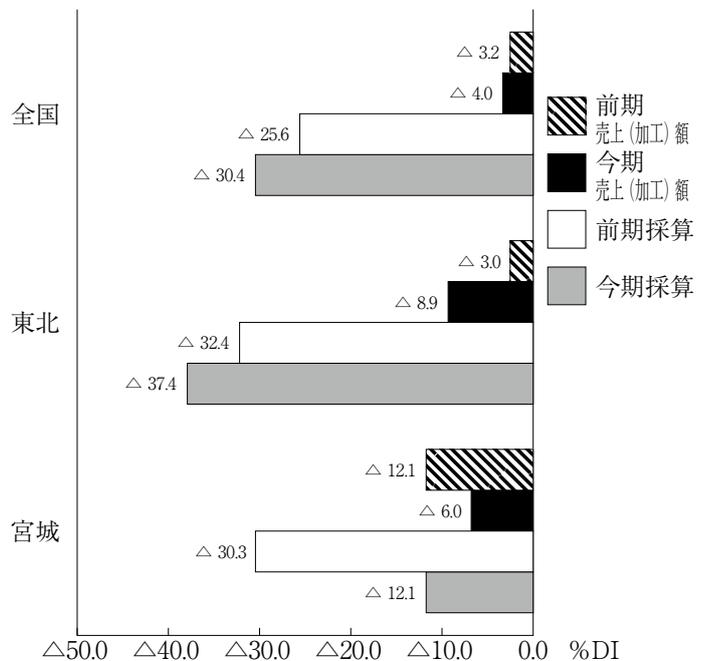
③ 全国・東北ブロックと本県の景況比較

今期と前期の比較では売上（加工）額DIでは全国、東北で悪化、宮城で改善した。

採算DIの比較でも、全国、東北で悪化、宮城で改善となった。

本県回答事業者からは「輸出はシーズンのに好調な時期」（食品加工）とする一方で、「需要が見込めるも半導体等の部品調達が困難」（電子部品）や、「資材・エネルギー高騰により採算が合わない」「建築工事の着工先送り」で受注物件が減少した」（木製品製造）などのコメントがあった。

図1-6 全国東北宮城売上（加工）額・採算比較（前年同期比）

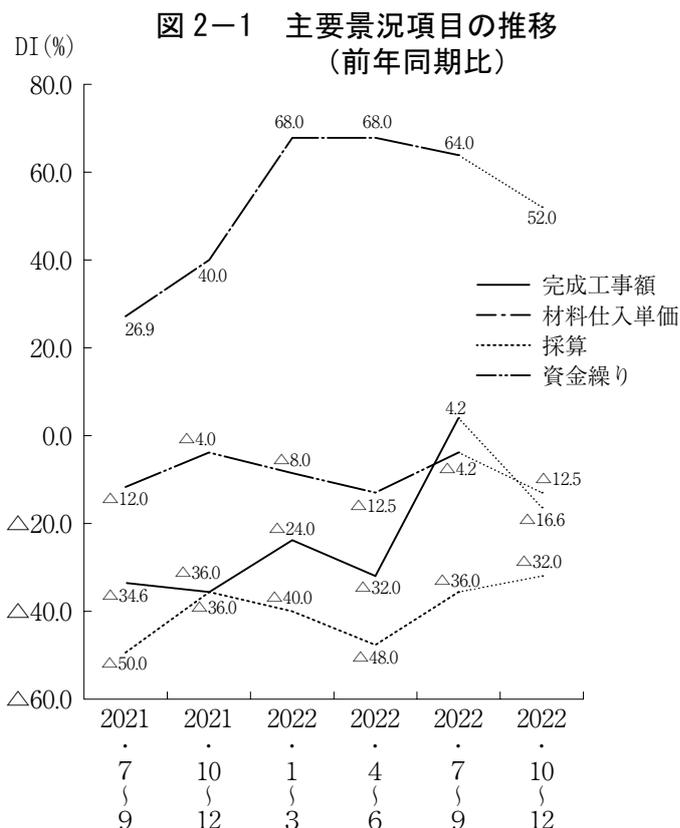


## (2) 建設業の動向

### ① 主要景況項目から見たあらまし

完成工事（請負工事）額D Iは今期4.2（前期△32.0）で、36.2ポイントの増加でプラスに転じた。採算D Iでは今期△36.0（前期△48.0）で12.0ポイント改善、資金繰りD Iでも今期△4.2（前期△12.5）と8.3ポイント改善した。

材料仕入単価D Iは今期64.0（前期68.0）と△4.0ポイントの低下となった。



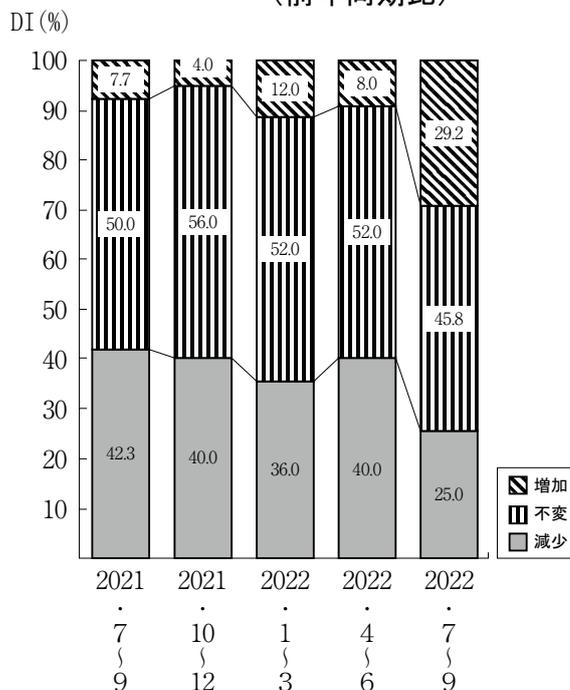
### ② 主要景況項目別状況

#### (a) 完成工事（請負工事）額

「増加」と回答した企業は全体の29.2%（前期8.0%）で21.2ポイント増加、「減少」と回答した企業は25.0%（前期40.0%）で△15.0ポイント減少した。

その結果、完成工事（請負工事）額D Iは4.2（前期△32.0）となり、36.2ポイントの大幅増加となった。

図2-2 完成工事額の状況  
(前年同期比)

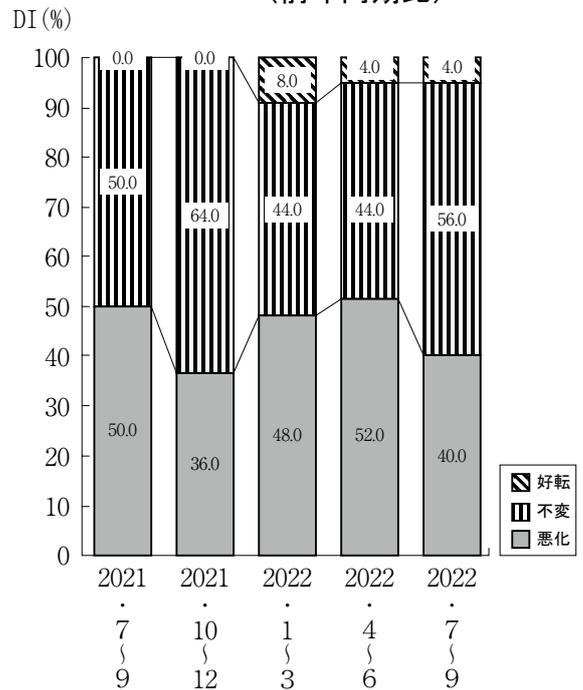


**(b) 採 算**

「好転」と回答した企業は全体の 4.0% (前期 4.0%) で横ばい、「悪化」と回答した企業は全体の 40.0% (前期 52.0%) で△12.0 ポイント減少した。

その結果、採算DIは△36.0 (前期△48.0) と前期より 12.0 ポイント改善した。

**図 2-3 採算の状況 (前年同期比)**



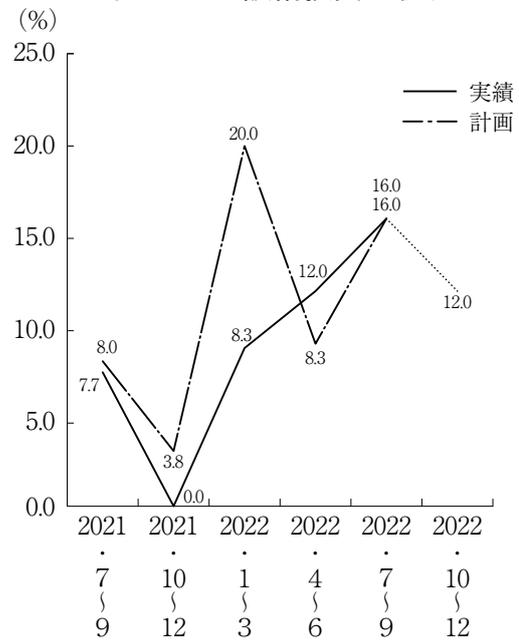
**(c) 設 備 投 資**

今期の新規投資実施 (実績) 企業割合は全体の 16.0% (前期 12.0%) で前期と比べ 4.0 ポイント増加した。

その設備内容は、土地、建設機械、車両・運搬具であった。

来期に設備投資を計画している企業は全体の 12.0%で、その設備内容は、建物、車両・運搬具、付帯施設となっている。

**図 2-4 設備投資の状況**

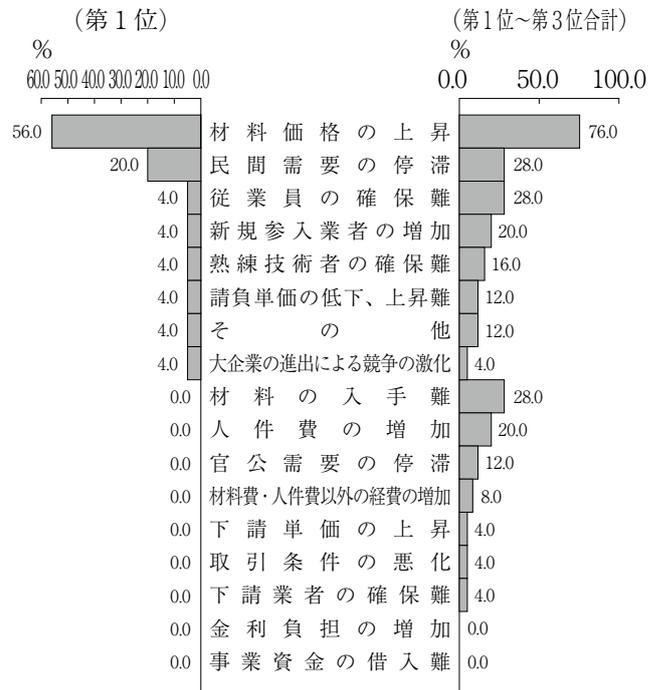


### (d) 経営上の問題点

重要度第1位の問題点は「材料価格の上昇」が56.0%で、次いで「民間需要の停滞」が20.0%、「従業員の確保難」「新規参入業者の増加」「熟練技術者の確保難」「請負単価の低下、上昇難」「大企業の進出による競争の激化」が同率4.0%で続いた。

重要度第1位から第3位合計でも、「材料価格の上昇」が76.0%（複数回答合計、以下同じ）で最上位、次いで「民間需要の停滞」「従業員の確保難」「材料の入手難」が同率28.0%、「新規参入業者の増加」「人件費の増加」が同率20.0%で続いた。

図2-5 経営上の問題点



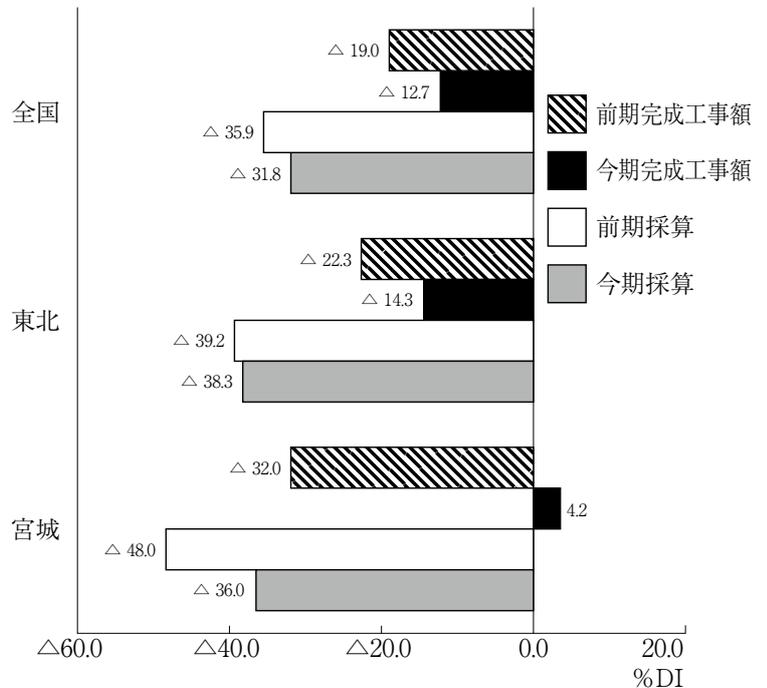
### ③ 全国・東北ブロックと本県の景況比較

今期と前期との比較では、完成工事額DIは全地域（全区分）で改善した。その改善度は宮城、東北、全国の順であった。

採算DIの比較でも全地域（全区分）で改善した。その改善度は宮城、全国、東北の順であった。

本県回答事業所からは「本年6月ころから受注量が増加した」（内装業）とする一方、「材料価格の上昇により利益が取れない」「ガソリン、軽油などの高騰で車両経費が増加した」「同業者の価格競争で企業経営が厳しくなっている」（建築工事）などのコメントが寄せられた。

図2-6 全国東北宮城完成工事額・採算比較（前年同期比）



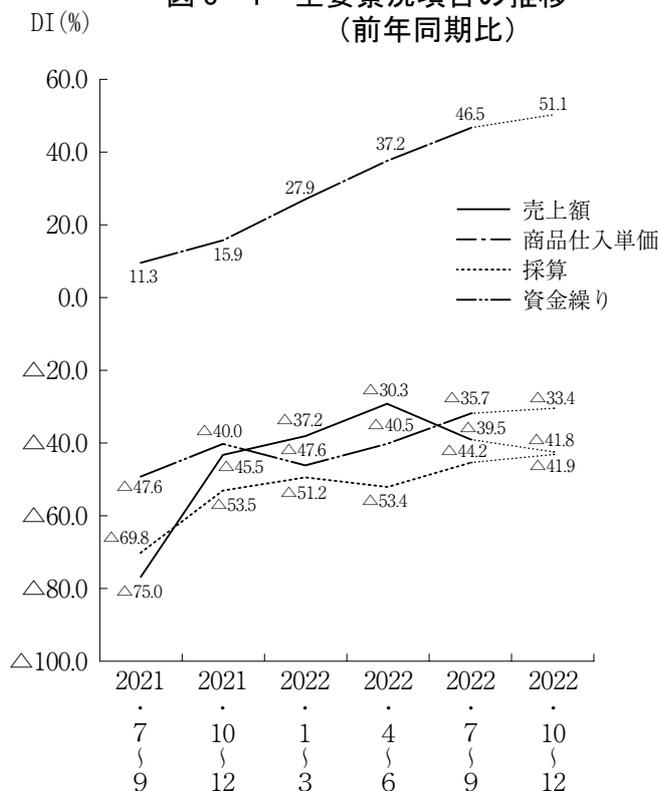
### (3) 小売業の動向

#### ① 主要景況項目から見たあらまし

売上額D Iは今期△39.5(前期△30.3)と前期より△9.2ポイント悪化、採算D Iでは今期△44.2(前期△53.4)で9.2ポイント改善、資金繰りD Iでは今期△35.7(前期△40.5)で4.8ポイント改善した。

商品仕入単価D Iは今期 46.5(前期 37.2)となり、9.3ポイント上昇した。

図3-1 主要景況項目の推移  
(前年同期比)



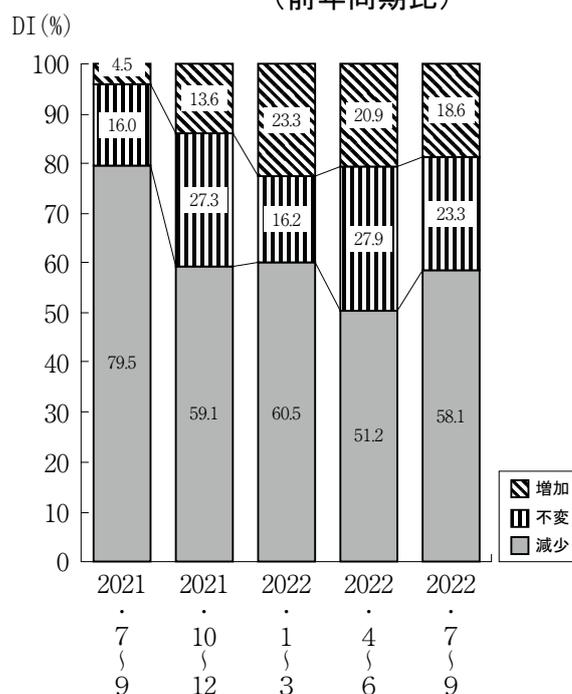
#### ② 主要景況項目別状況

##### (a) 売上額

「増加」と回答した企業は、今期は全体の18.6%(前期20.9%)で△2.3ポイント減少、「減少」の回答は、今期は全体の58.1%(前期51.2%)で6.9ポイント増加した。

その結果、売上額D Iは今期△39.5(前期△30.3)と前期より△9.2ポイント悪化した。

図3-2 売上額の状況  
(前年同期比)

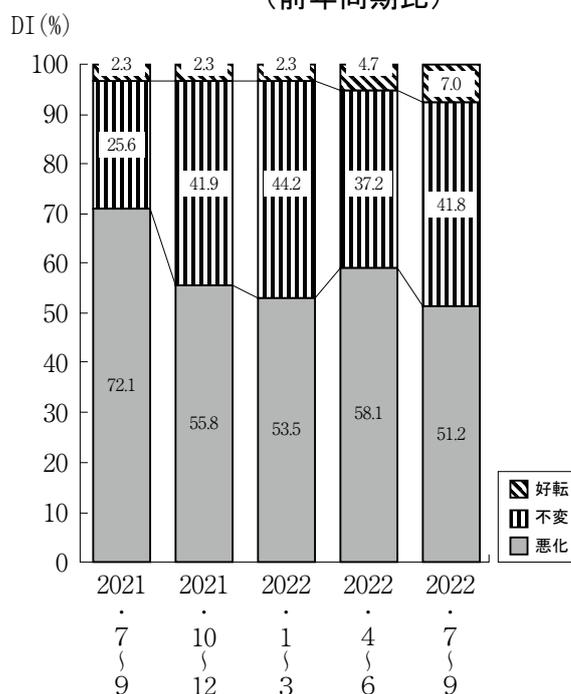


### (b) 採 算

「好転」と回答した企業は、今期は全体の7.0%（前期4.7%）で2.3ポイント増加、「悪化」の回答は、今期は全体の51.2%（前期58.1%）で△6.9ポイント減少した。

その結果、採算DIは今期△44.2（前期△53.4）で、前期より9.2ポイント改善した。

図3-3 採算の状況  
(前年同期比)



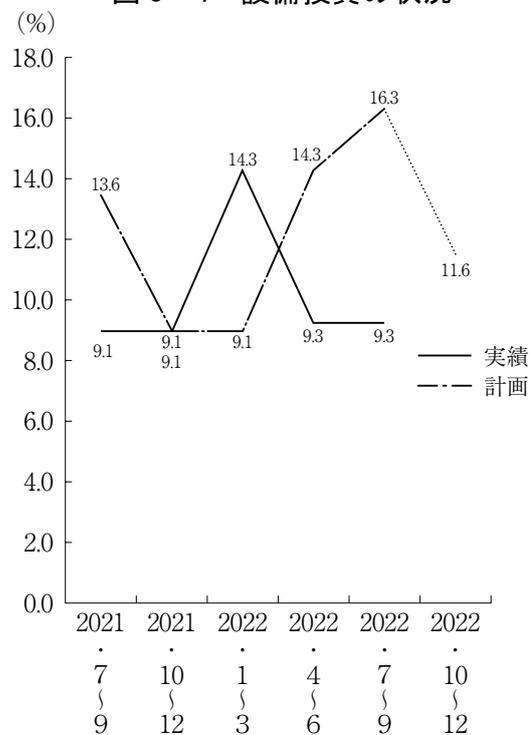
### (c) 設 備 投 資

今期の新規投資実施（実績）企業割合は、今期は全体の9.3%（前期9.3%）で前期比横ばいとなった。

その設備内容は、車両・運搬具、付帯施設であった。

来期に設備投資を計画している企業は全体の11.6%で、その設備内容は、店舗、販売設備、付帯施設となっている。

図3-4 設備投資の状況

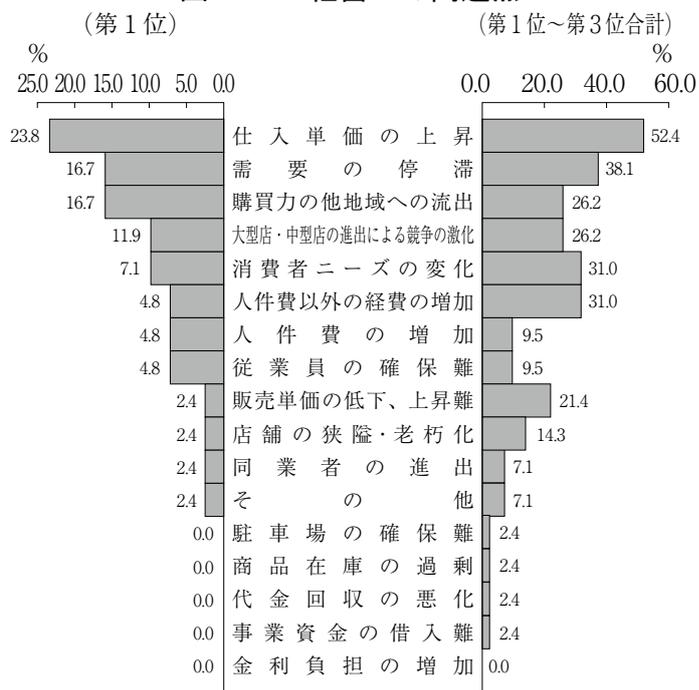


(d) 経営上の問題点

重要度第1位は「仕入単価の上昇」が23.8%で、次いで「需要の停滞」「購買力の他地域への流出」が同率16.7%、「大型店・中型店の進出による競争の激化」が11.9%で続いた。

重要度第1位から第3位合計では、「仕入単価の上昇」が52.4%(複数回答合計、以下同じ)で最上位、次いで「需要の停滞」が38.1%、「消費者ニーズの変化」「人件費以外の経費の増加」が同率31.0%、「購買力の他地域への流出」「大型店・中型店の進出による競争の激化」が同率26.2%で続いた。

図3-5 経営上の問題点



③ 全国・東北ブロックと本県の景況比較

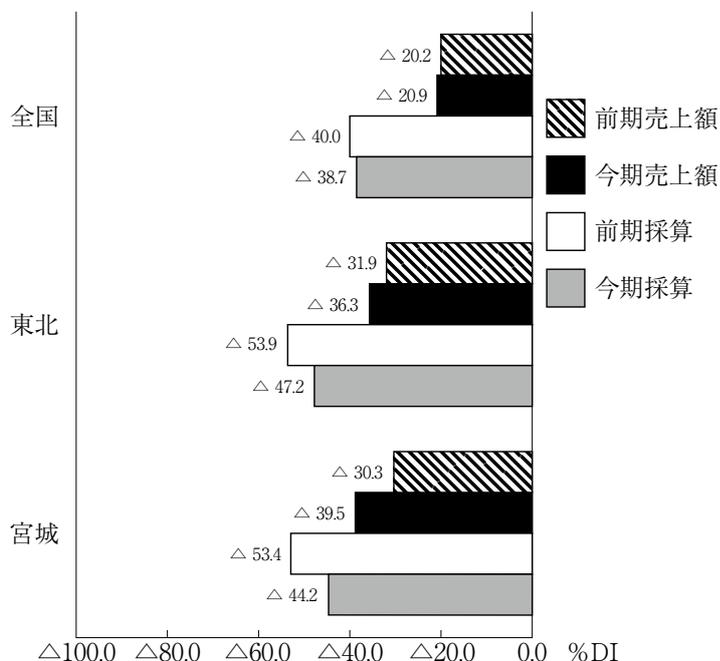
の景況比較

今期と前期の比較では、売上DIは全地域(全区分)で悪化となった。その悪化度は宮城、東北、全国の順であった。

採算DIでは、全地域(全区分)で改善。その改善度は宮城、東北、全国の順であった。

本県回答事業所から「一人当たりの購入額が上昇」(身の回り品)、「委託販売等の拡大により回転率が改善」(飲食料品)とする一方、「電気、ガス料金の高騰、仕入単価の上昇で経営が圧迫」(食料品販売)や、「大型店進出による消費者の流出が大きい」(調剤薬局)などのコメントが寄せられた。

図3-6 全国東北宮城売上額・採算比較(前年同期比)



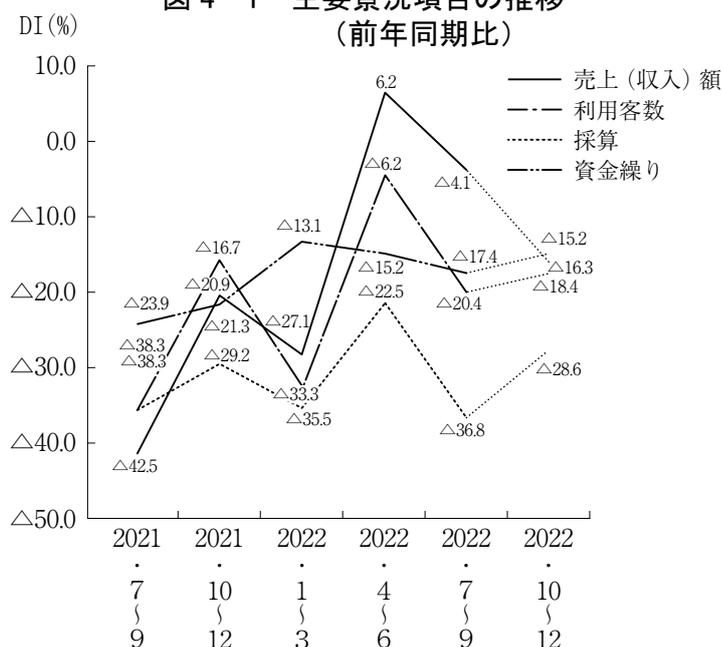
## (4) サービス業の動向

### ① 主要景況項目から見たあらまし

売上(収入)額DIは今期△4.1(前期6.2)で△10.3ポイント悪化、採算DIも今期△36.8(前期△22.5)で△14.3ポイント悪化、資金繰りDIでは、今期△17.4(前期△15.2)で△2.2ポイント悪化した。

利用客数DIは、今期△20.4(前期△6.2)で△14.2ポイント悪化した。

図4-1 主要景況項目の推移  
(前年同期比)



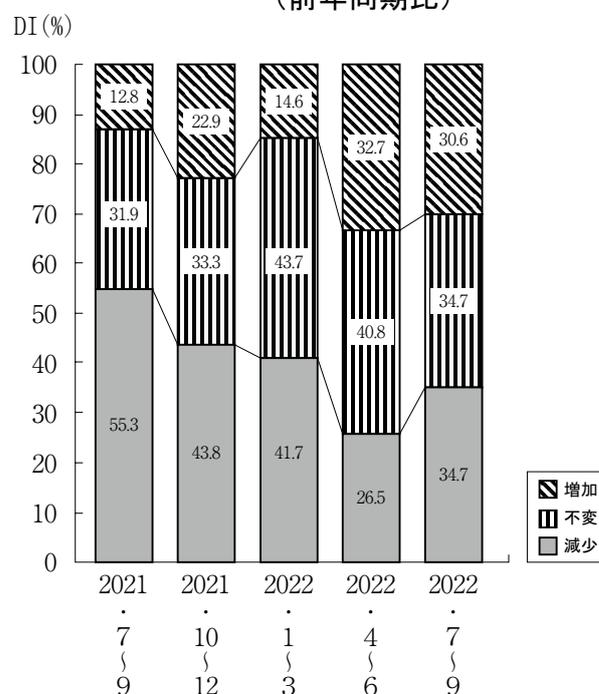
### ② 主要景況項目別状況

#### (a) 売上(収入)額

「増加」と回答した企業は、今期は全体の30.6%(前期32.7%)で前期より△2.1ポイント減少、「減少」の回答は今期34.7%(前期26.5%)で8.2ポイント増加した。

その結果、売上(収入)額DIは今期△4.1(前期6.2)で、前期より△10.3ポイント悪化した。

図4-2 売上(収入)額の状況  
(前年同期比)



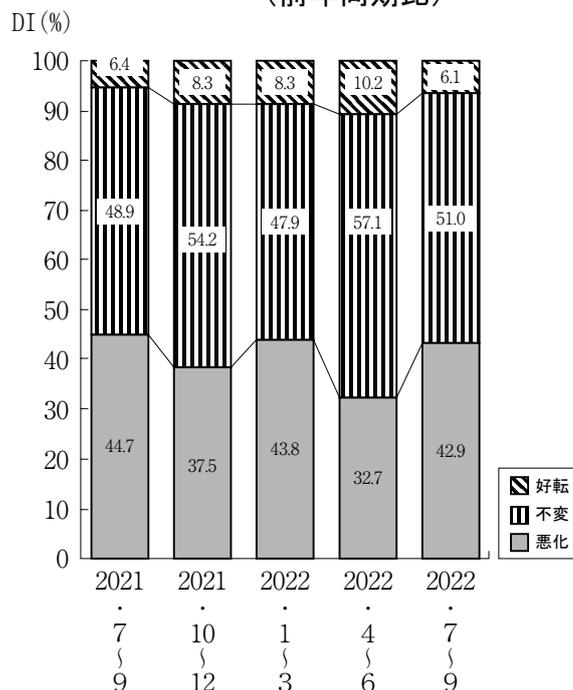
### (b) 採 算

「好転」と回答した企業は、今期は全体の6.1%(前期10.2%)で△4.1ポイント減少、

「悪化」と回答した企業は今期42.9%(前期32.7%)と10.2ポイント増加した。

その結果、採算DIは今期△36.8(前期△22.5)で前期より△14.3ポイント悪化した。

図4-3 採算の状況  
(前年同期比)



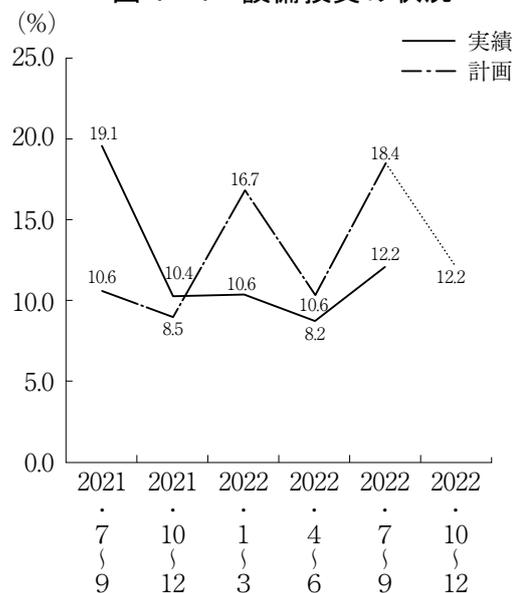
### (c) 設 備 投 資

今期新規投資を実施(実績)した企業は全体の12.2%(前期8.2%)で、前期より4.0ポイント増加した。

その設備内容は、建物、サービス、付帯施設、OA機器であった。

来期に設備計画している企業割合は全体の12.2%で、その設備内容は、サービス、車両・運搬具となっている。

図4-4 設備投資の状況

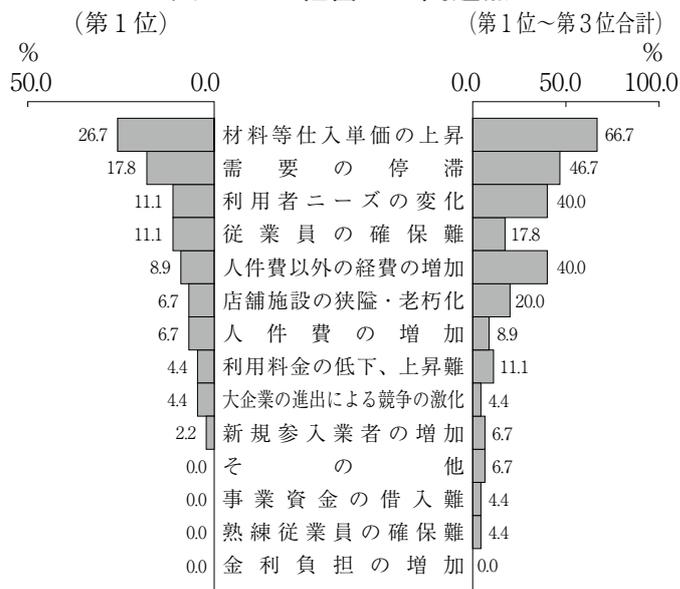


### (d) 経営上の問題点

重要度第1位は「材料等仕入単価の上昇」が26.7%で、次いで「需要の停滞」が17.8%、「利用者ニーズの変化」「従業員の確保難」が同率11.1%で続いた。

重要度第1位から第3位合計では「材料等仕入単価の上昇」が66.7%（複数回答合計、以下同じ）で最上位、次いで「需要の停滞」が46.7%、「利用者ニーズの変化」「人件費以外の経費の増加」が同率40.0%、「店舗施設の狭隘・老朽化」が20.0%で続いた。

図4-5 経営上の問題点



### ③ 全国・東北ブロックと本県の景況比較

前期と今期の比較において、売上(収入)DIは全地域(全区分)で悪化した。その悪化度は宮城、全国、東北の順であった。

採算DIでも全地域(全区分)で悪化した。その悪化度は宮城、東北、全国の順であった。

本県回答事業所からは、「コロナ渦ではあるが利用客が増加している」(飲食業)とする一方、「物価高騰の影響が大きい」(飲食業)、「仕入単価の上昇、燃料費の高止まり」(クリーニング業)、「人手不足や光熱費、消耗品等の高騰がいつまで続くか不安」(宿泊業)などのコメントが寄せられた。

図4-6 全国東北宮城売上(収入)額・採算比較(前年同期比)

